

築約 60 年の住まいが高断熱・高耐震住宅として現代によみがえる

戸建性能向上リノベーション実証プロジェクト『再生匠家 岐阜西濃の家』  
さいせいたくみや

「森を守りたい」国産材 100%と自然素材、職人の技にこだわった戸建住宅リノベーション

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、地域に根差した工務店として岐阜市で住宅建築業を営む株式会社 WOODYYLIFE（本社：岐阜県岐阜市、代表取締役：石橋 常行）と共働し、中古戸建住宅の性能向上リノベーションを実証するプロジェクト（※1）として、『再生匠家 岐阜西濃の家』に取り組み、完成したことをお知らせします。



左：Before、右：After

本物件は、岐阜県本巣郡北方町の旧街道沿いの住宅地の一面に建つ築約 60 年の住まいを地元の無垢材や漆喰など国産材 100%の自然素材にこだわってリノベーションを実施した戸建住宅です。一般的な新築住宅の「断熱」と「耐震」性能（※2）を上回る性能向上はもとより、7 部屋あった小部屋をまとめて大空間にし、使いづらさを解消。匠の技で「古いを活かし、価値を高める」住まいづくりで健康に心地よく豊かな暮らしの提案をリノベーションで実現しています。

高い断熱性能を実現するために、住まいの中で熱の出入りが最も多い「窓」や「ドア」には YKK AP の高性能樹脂窓「APW 330」、大開口スライディング「APW 511」と、断熱スライディングドア「コンコード S30」を採用。住宅の断熱性能は改修前の約 8.5 倍に向上しました（ $U_A$  値：改修前  $3.52 \text{ W/m}^2 \cdot \text{K}$  ⇒ 改修後  $0.41 \text{ W/m}^2 \cdot \text{K}$ ）（※3）。冬場の室内での体感温度が概ね  $13^\circ\text{C}$ を下回らないとされる HEAT20 G2 相当（※4）をクリアすることで、冬場のヒートショックのリスクを軽減し、健康で快適な居住空間と高い省エネ性を実現。22 年 10 月に新設された断熱等性能等級 6（6 地域基準： $U_A$  値  $0.46 \text{ W/m}^2 \cdot \text{K}$ ）もクリアしています。

耐震性能向上では、YKK AP の開口部耐震商品「FRAME II」を採用し、開口部の耐力壁量を増やし、耐震性能を高めました（改修前 評点 0.61⇒改修後 評点 2.09）（※5）。

SDGs の観点からも、住まいの選択肢として、新築や建て替えではない、リフォームやリノベーションの重要性が指摘されています。日本のストック住宅市場の流通活性化と、そのベースとなる住宅の断熱化や耐震化も強く求められる中、本取り組みを通じて、持続的な住環境の構築に貢献していきます。

## ■『再生匠家 岐阜西濃の家』物件概要

物件所在地	岐阜県本巣郡北方町
敷地面積	268.12 m <sup>2</sup> (81.11 坪)
床面積	98.92 m <sup>2</sup> (29.92 坪)
構造	在来軸組工法 地上1階
既存建築年月	昭和38年(1963年)12月 <築約60年> (増築部:昭和47年(1972年)12月)
改修工事期間	令和4(2022)年8月~令和5(2023)年3月
事業主・設計・施工	株式会社 WOODYYLIFE

### <改修前>

#### リビング



### <改修後>



#### キッチン



## ■ 高い断熱性能で健康・快適と省エネを届ける

窓は、アルミサッシ+単板ガラス窓から、高い断熱性能の樹脂窓「APW 330」とアルミ樹脂複合構造で大開口を実現する「APW 511」に交換。

壁・屋根・基礎の断熱工事も行い、住宅全体の断熱性能や省エネ性能が、大きく向上しています。

玄関は断熱スライディングドア「コンコード S30」を採用し引戸ならではの使い勝手のよい玄関となっています。

高性能樹脂窓

APW<sup>®</sup> 330



大開口スライディング  
APW<sup>®</sup> 511

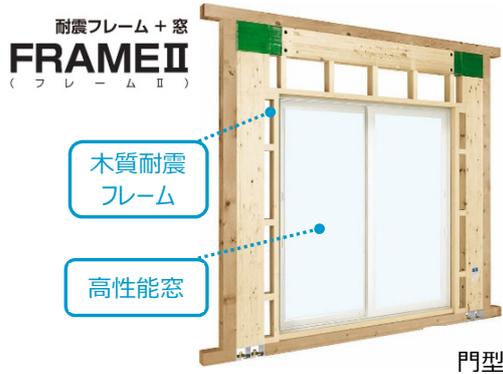


断熱スライディングドア コンコード  
Concord S30



## ■高い耐震性能で安全・安心を提供

YKK APの開口部耐震商品「FRAME II」門型を1カ所に使用。開口部の耐力壁量を増やし、断熱と耐震を同時に実現しています。耐震診断シミュレーションの評点は、リノベーション前の[0.61]がリノベーション後には[2.09]となり、建築基準法で定められた1.5倍強の強さを持つ耐震等級3相当の強度となり「震度6強でも倒壊しない」耐震性能を実現しています。



- ※1：全国各地のリノベーション事業者とYKK APが連携して、既存戸建住宅に「断熱」「耐震」を軸とした性能向上リノベーションを施して、住まいの価値が「窓・開口部」でかえられるかを実証するプロジェクト。2017年度以降19物件を展開し、本物件が20物件目になります。なお、この取り組みは「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2019」無差別級部門で最優秀賞を受賞しています。
- ※2：断熱は平成28年省エネ基準（当地では $U_A$ 値0.87W/m<sup>2</sup>・K）、耐震は耐震等級1(上部構造評点1.0)を上回る。
- ※3：「YKK AP住宅省エネ性能計算ソフト」によるシミュレーション結果。
- ※4：「一般社団法人20年先を見据えた日本の高断熱住宅研究会」が提示している、「エネルギー」「環境の質」「コスト」がバランスよく調和した住宅を目指すための断熱推奨水準。G1、G2、G3などの水準が地域別に定められている。
- ※5：木造住宅の耐震診断・補強設計ソフトウェア「ホームズ君 耐震診断 Pro」一般診断法による結果。

### <参考情報>

「戸建性能向上リノベーション実証プロジェクト」の裏側を紹介しています。

**YKK APと住宅事業者が一緒に取り組む「戸建性能向上リノベーション」**  
**“断熱性能”と“耐震性能”の向上にこだわる理由。**

<https://prtimes.jp/story/detail/vBdyOyu61jx>

